

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	石橋西団地建替事業	階数	地上5F
建設地	大阪府池田市豊島北一丁目	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2020年05月04日
敷地面積	3,019 m <sup>2</sup>	作成者	山崎 勝秀
建築面積	976 m <sup>2</sup>	確認日	2020年05月22日
延床面積	3,064 m <sup>2</sup>	確認者	森崎雅己



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。 仕上材料については、化学物質放出量の少ないものを使用している。 主要設備配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>仕上材料についてはF☆☆☆☆を使用するとともに、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放出量が少ない建材を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐候性、耐久性、防汚性に優れた内外装材を使用している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>地域貢献に寄与する外部空間を形成している。 集会所及び隣接するデッキテラスを設け、内外を連関させる中間領域を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱性能の高い外壁構成としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル資材を使用している。 有害物質を含まない材料を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を、一般的な建物に対して低く抑えている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0024

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	石橋西団地建替事業					
		建設地	大阪府池田市豊島北一丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.8	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								